

4 費目別指数の動き

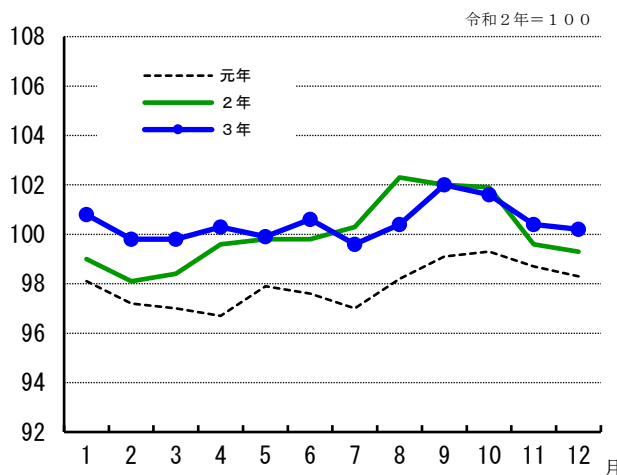
(1) 食料

年平均指数は100.4となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。

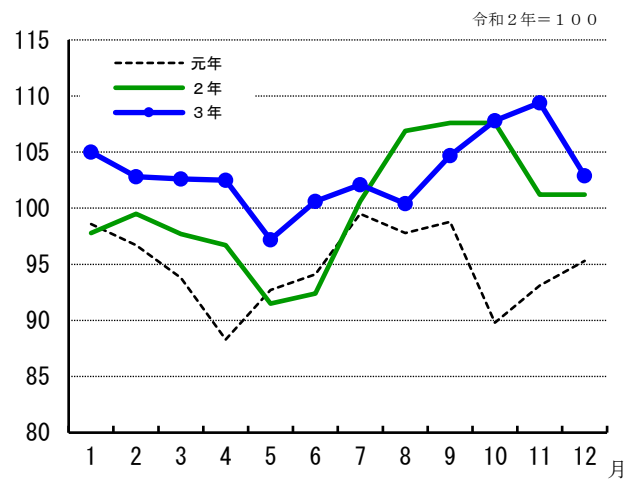
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が3.2%の上昇、生鮮野菜が2.4%の下落、生鮮果物が1.2%の下落となり、生鮮食品全体では0.5%の下落となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類は1.0%の下落、魚介類は2.5%の上昇、肉類は3.5%の上昇、乳卵類は0.9%の下落、野菜・海藻は1.4%の下落、果物は2.0%の下落、油脂・調味料は1.0%の上昇、菓子類は1.7%の上昇、調理食品は0.4%の上昇、飲料は1.7%の下落、酒類は1.0%の上昇、外食は0.2%の上昇となった。

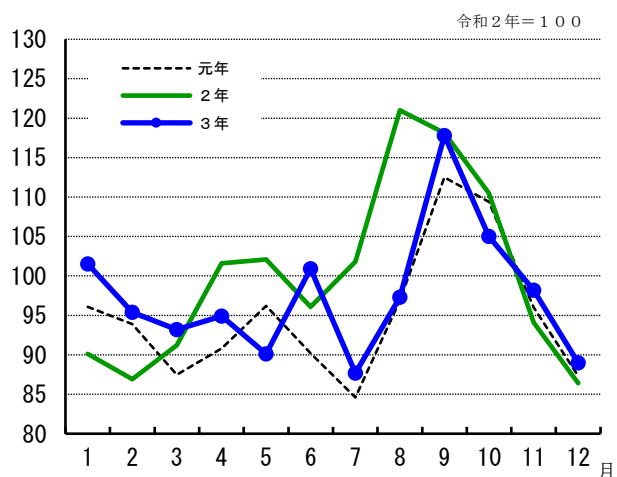
食料指数



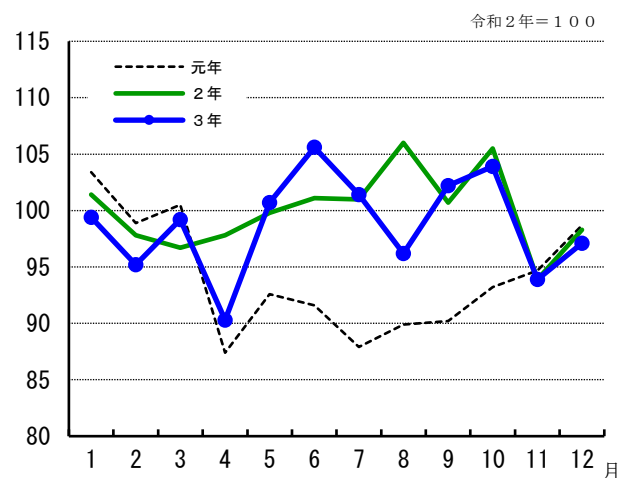
生鮮魚介指数



生鮮野菜指数

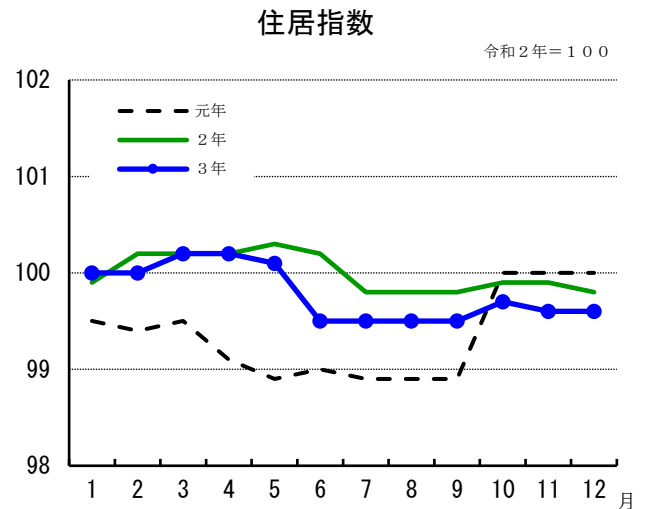


生鮮果物指数



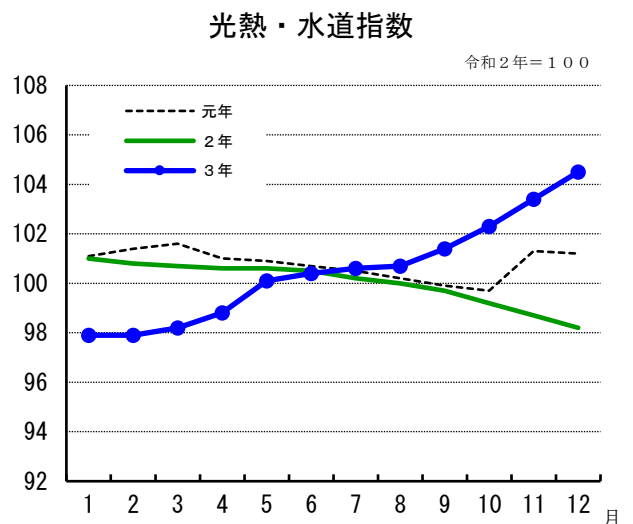
(2) 住居

年平均指数は 99.8 となり、前年に比べて 0.2% の下落となった。内訳をみると、家賃は 0.7% の下落、設備修繕・維持は 2.9% の上昇となった。



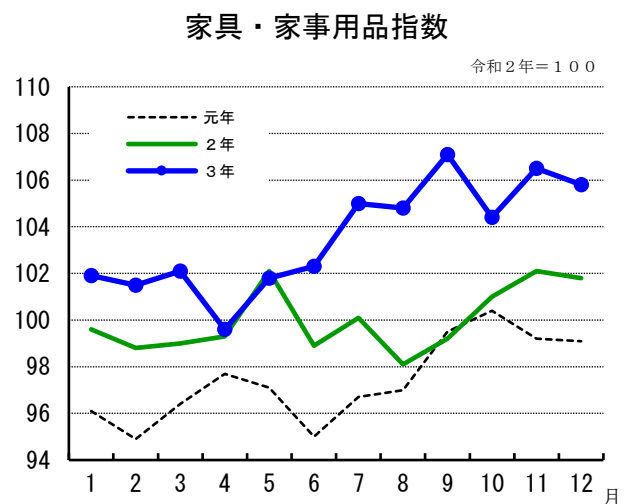
(3) 光熱・水道

年平均指数は 100.5 となり、前年に比べ 0.5% の上昇となった。内訳をみると、電気代は 0.8% の上昇、ガス代は 0.3% の上昇、他の光熱は 1.8% の上昇、上下水道料は前年と同水準となった。



(4) 家具・家事用品

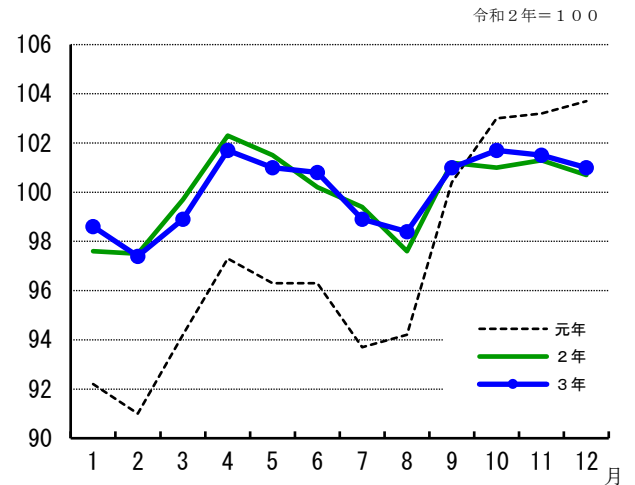
年平均指数は 103.6 となり、前年に比べ 3.6% の上昇となった。内訳をみると、家庭用耐久財は 5.5% の上昇、室内装備品は 8.8% の上昇、寝具類は 3.5% の上昇、家事雑貨は 1.6% の上昇、家事用消耗品は 2.0% の上昇、家事サービスは前年と同水準となった。



(5) 被服及び履物

年平均指数は100.1となり、前年に比べ0.1%の上昇となった。内訳をみると、衣料は2.6%の上昇、シャツ・セーター・下着類は0.9%の下落、履物類は7.1%の下落、他の被服類は3.2%の上昇、被服関連サービスは前年と同水準となった。

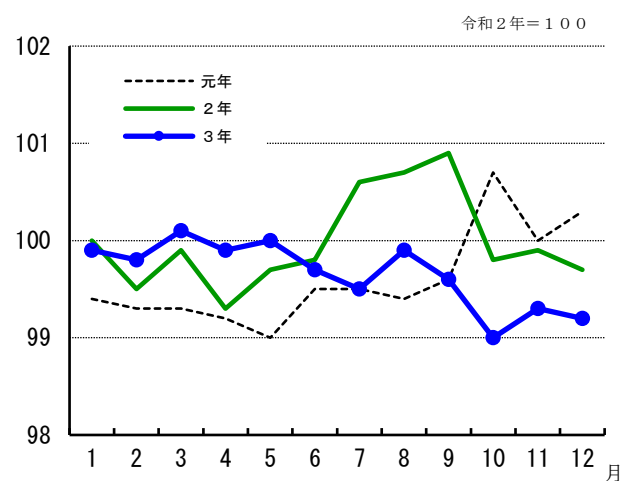
被服及び履物指数



(6) 保健医療

年平均指数は99.7となり、前年に比べ0.3%の下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は0.6%の上昇、保健医療用品・器具は1.3%の下落、保健医療サービスは0.6%の下落となった。

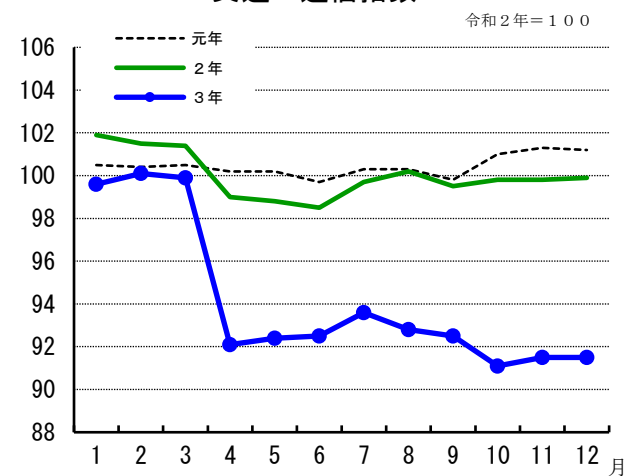
保健医療指数



(7) 交通・通信

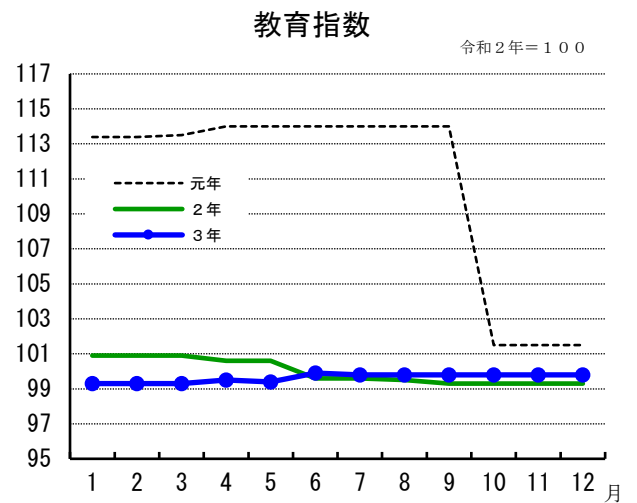
年平均指数は94.1となり、前年に比べ5.9%の下落となった。内訳をみると、交通は0.4%の上昇、自動車等関係費は1.9%の上昇、通信は22.2%の下落となった。

交通・通信指数



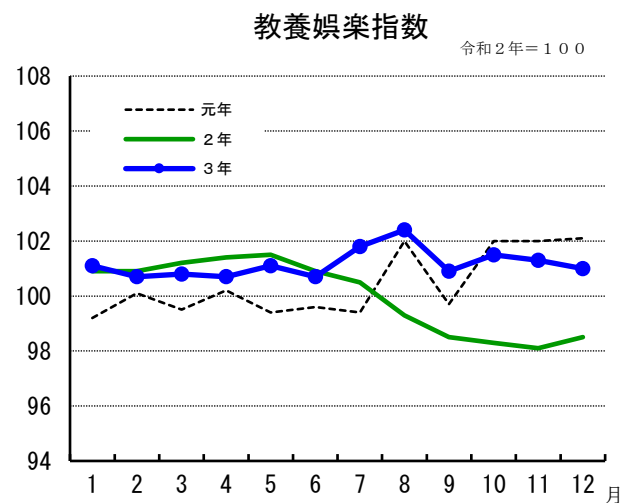
(8) 教育

年平均指数は 99.6 となり、前年に比べ 0.4% の下落となった。内訳をみると、授業料等は 1.1% の下落、教科書・学習参考教材は 0.1% の上昇、補習教育は 1.2% の上昇となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は 101.2 となり、前年に比べ 1.2% の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は 1.5% の下落、教養娯楽用品は 1.1% の下落、書籍・他の印刷物は 1.1% の上昇、教養娯楽サービスは 2.4% の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は 101.3 となり、前年に比べ 1.3% の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは 0.6% の上昇、理美容用品は 0.2% の上昇、身の回り用品は 0.9% の下落、たばこは 8.5% の上昇、他の諸雑費は 1.6% の上昇となった。

